BV-173□胞

300133

BV-173□胞株は、1980年に樹立されたフィラデルフィア染色体陽性（Ph+）慢性骨髄性白血病（CML）と診断された患者の末梢血に由来する。この □胞株は、9番染色体と22番染色体との転座を伴う特異的な染色体異常を示す Ph+であることで特に注目されている。この転座は、しばしばフィラデルフィア染色体と呼ばれ、BCR-ABL融合遺伝子をもたらし、白血病□胞の増殖と生存を促進することにより CMLの病態を推進する重要な分子的特徴である。

BV-173□胞は、CMLの□胞および分子メカニズム、特に薬剤耐性と、 BCR-ABL融合タンパク質を標的とするチロシンキナーゼ阻害剤（ TKI）に対する□胞応答を研究するモデルとして、血液学研究に広く用いられている。この □胞株は、新しい治療戦略を評価し、 CMLの生物学を理解するための前臨床研究に役立っている。 BV-173は骨髄系□胞に典型的な特徴を示し、BCR-ABL癌遺伝子のためにCMLで調節不全となるシグナル伝達経路の研究にしばしば用いられている。

概要

□明

BV-173□胞株は、1980年に樹立されたフィラデルフィア染色体陽性（ Ph+）慢性骨髄性白血病（CML）と診断された患者の末梢血に由来する。この □胞株は、9番染色体と22番染色体との転座を伴う特異的な染色体異常を示す Ph+であることで特に注目されている。この転座は、しばしばフィラデルフィア染色体と呼ばれ、BCR-ABL融合遺伝子をもたらし、白血病□胞の増殖と生存を促進することにより CMLの病態を推進する重要な分子的特徴である。

BV-173□胞は、CMLの□胞および分子メカニズム、特に薬剤耐性と、 BCR-ABL融合タンパク質を標的とするチロシンキナーゼ阻害剤（ TKI）に対する□胞応答を研究するモデルとして、血液学研究に広く用いられている。この □胞株は、新しい治療戦略を評価し、 CMLの生物学を理解するための前臨床研究に役立っている。 BV-173は骨髄系□胞に典型的な特徴を示し、BCR-ABL癌遺伝子のためにCMLで調節不全となるシグナル伝達経路の研究にしばしば用いられている。

ティッシュ	血液
病気	慢性骨髄性白血病

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

細胞の種類	未分化芽球□胞
倍数性	T(9, 22) モーダル数: 2n=46
倍増時間	35時間

識別子

引用

BV-173 (Cytion カタログ番号 300133)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0181

発現と感受性

変異プロファイル

B2a2 BCR-ABL

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

逆転写酵素	陰性（ELISA）

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%熱不活性化FBSを添加する。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10^5□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10^5～1×10^6□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	1 × 10^5 □胞/ml
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	少なくとも48時間、□胞を凍結から回復させる。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	45年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB